夏のリコチャレ2026総括







令和８年10月28日
内閣府･文部科学省

男女がともに活躍できる社会へ
内閣府
男女共同
参画局

目次

１．科学技術・学術分野における現状と課題

２．内閣府の取組

３．文部科学省の取組

４．夏のリコチャレ2026振返りと2027年度に向けて

１．科学技術・学術分野における現状と課題

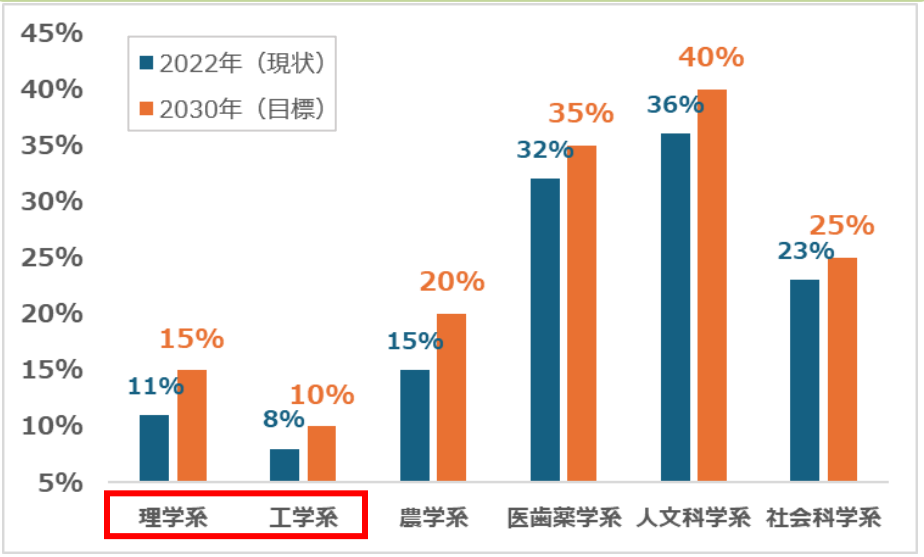
科学技術・学術分野における男女共同参画の推進に係る現状①

女性ノーベル賞受賞者数（自然科学分野）

	生理学・医学	物理学	化学	計
アメリカ	7	2	3	12
欧州	5	2	4	11
日本	0	0	0	0
その他	2	1	1	4
全体	14	5	8	27

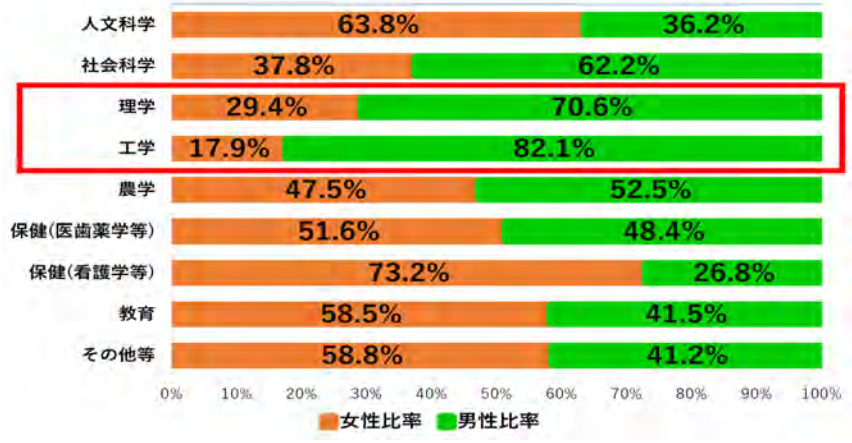
※2026年までの受賞者を集計。
※その他の国は、イスラエル、オーストラリア、中国、カナダ。

大学の教員に占める女性の割合　助教以上（分野別）



（出典）文部科学省「令和４年度学校教員統計調査」

大学（学部）の学生に占める女性の割合



（出典）文部科学省「令和７年度学校基本調査」
※その他等は「商船」、「家政」、「芸術」及び「その他」の合計。

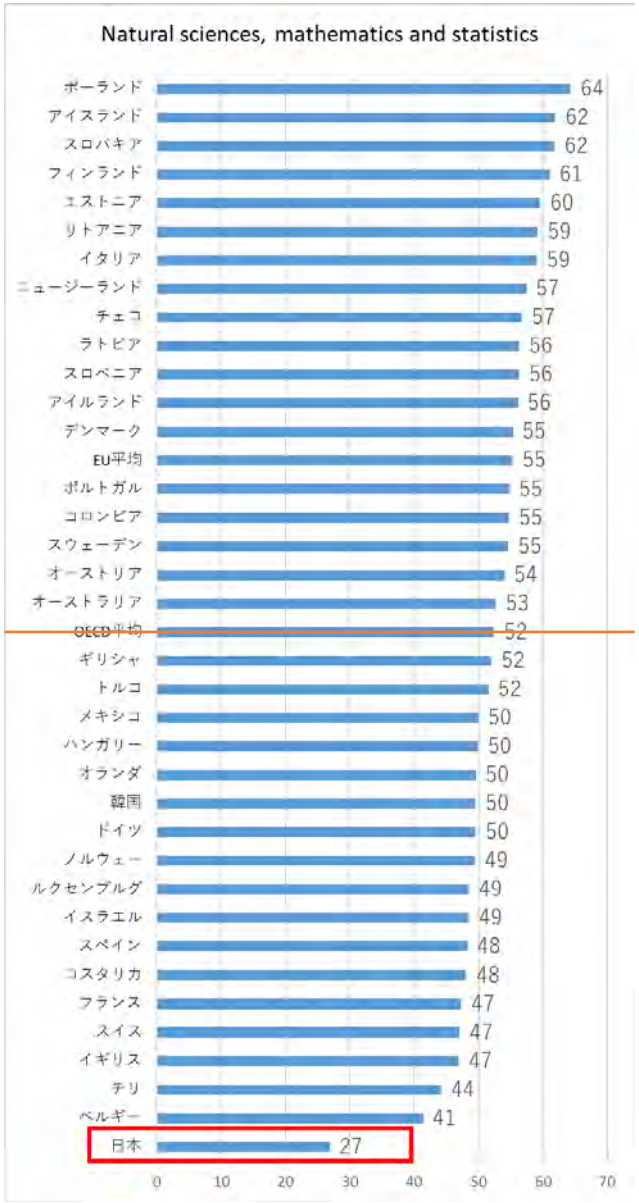
OECD生徒の学習到達度調査(15歳時点)

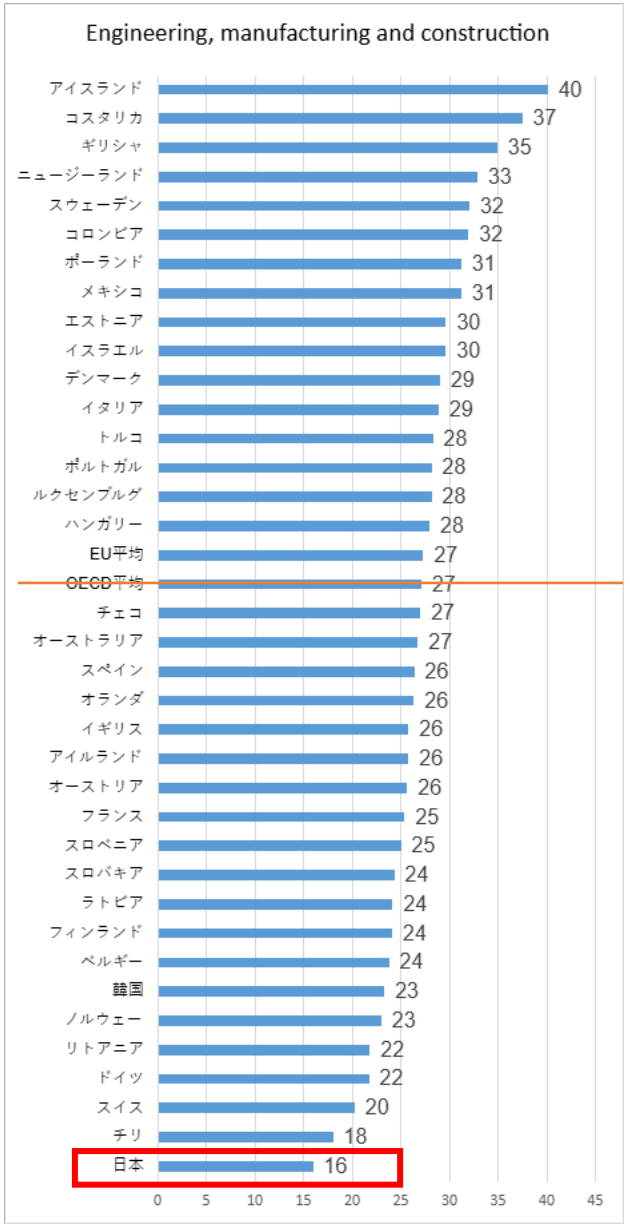
	日本			OECD平均		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
科学的コンピテンシー平均得点	538点 1位	542点 1位	533点 1位	482点	481点	483点
数学的リテラシー平均得点	525点 1位	533点 1位	517点 1位	463点	470点	456点
読解力平均得点	503点 1位	496点 1位	510点 4位	461点	446点	476点

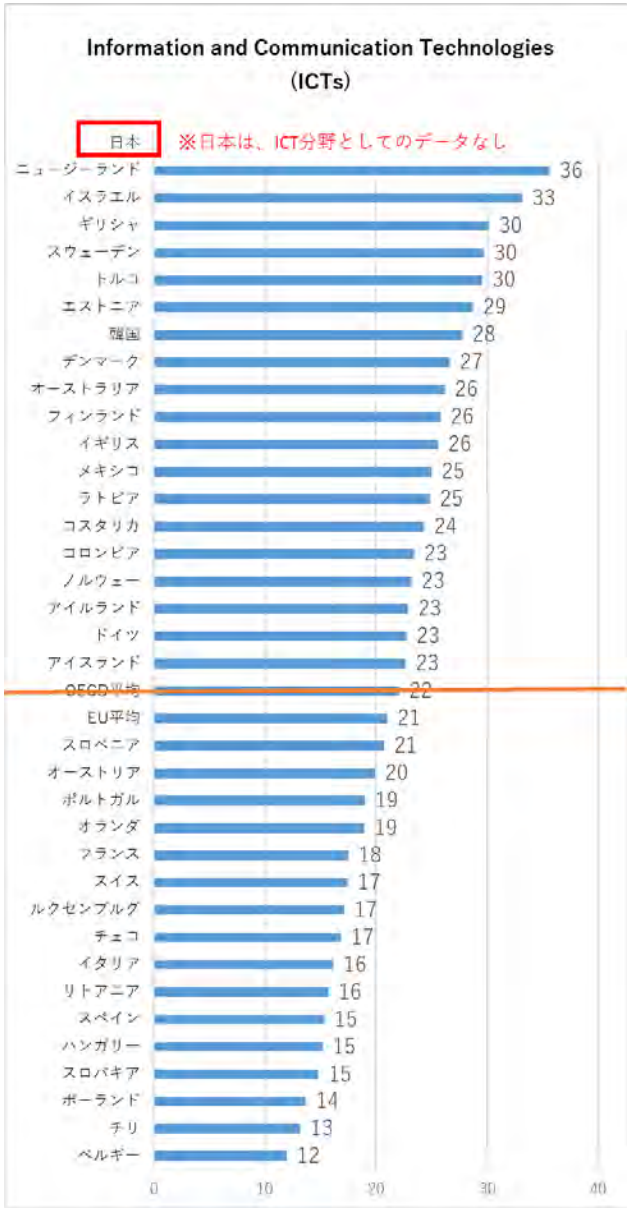
※OECD　PISA（Programme for International Student Assessment）2025より内閣府作成
※順位はOECD加盟38か国中。
※調査段階で15歳３か月以上16歳2か月以下の学校に通う生徒が対象（日本では高校1年生）。

科学技術・学術分野における男女共同参画の推進に係る現状②

OECD諸国における分野別大学等入学者女性割合（2022年）





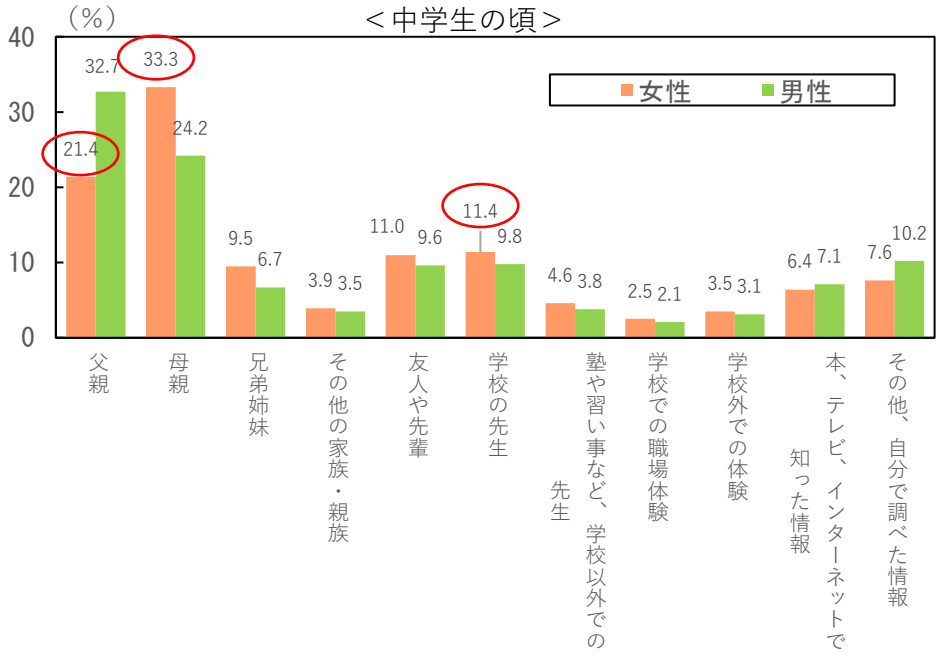


※OECD.statより作成 2022年データ（2024.11.12更新）

女子の進路選択への親の影響について

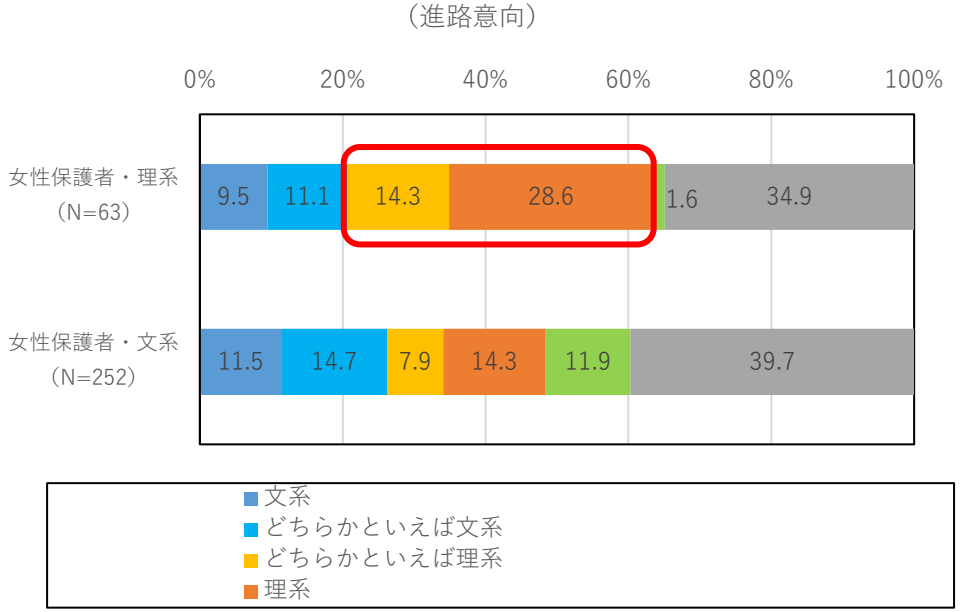
【調査結果】
・中学生の頃に、働く上でのイメージや進路選択において影響を受けた人は、女性は母親、男性は父親と、同性の親の影響を顕著に受けている。
・また、女性保護者の最終学歴が理系の場合、その子（女子）は、将来の進路を「理系」とする割合が高くなっている。

進路選択において影響を受けたもの



※出所：「多様な選択を可能にする学びに関する調査」（平成30年度内閣府調査）

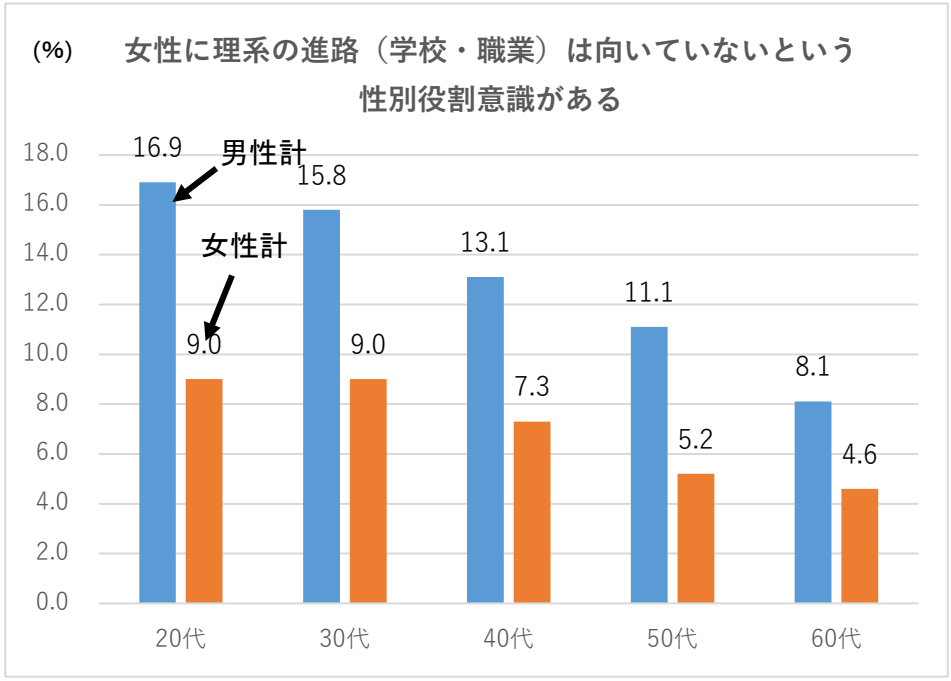
女性保護者の最終学歴とその子(女子)の進路意向

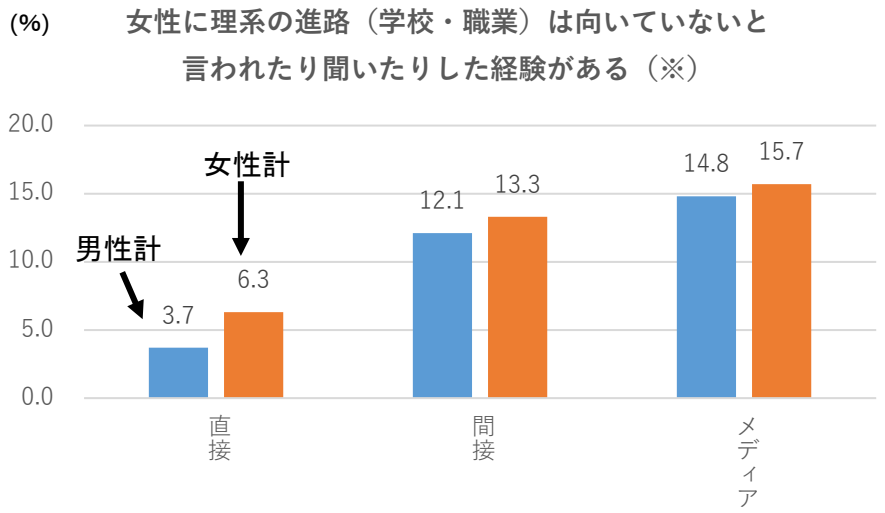


※出所：「女子生徒等の理工系進路選択支援に向けた生徒等の意識に関する調査研究」（平成29年度内閣府調査）
調査対象は中学２年生。

理系の進路選択に関する無意識の思い込みについて
～「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」より～

【調査結果】
・「女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない」という測定項目について、「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答した者の割合は、いずれの世代でも男性の方が高い。
・一方、そうした発言を言われたり聞いたりした経験のある人数の割合は、直接・間接を問わず、男性より女性のほうが高い。特にメディアで見たり聞いたりしたことがあると回答した者の割合は、男女ともに約15%となっている。こうした経験が女子学生の進路選択に影響を与えていることも考えられる。





※【直接】直接言われたり聞いたり したことがある
【間接】直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある
【メディア】メディアで見たことがある

※出所：内閣府男女共同参画局
令和４年度性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究

女性の理工系分野への進路選択を促進するうえで、重点的に取り組むべき地域

出典：令和３年度 内閣府調査「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究」

■ 女性の理工系分野への進路選択を促進するうえで、人口「５万人未満」の地域は相対的に課題が大きく、今後重点的に取り組むべき地域と考えられる。



➢ 「５万人未満」の地域における課題

- 進路に関して、近隣に大学等の高等教育機関が少なく選択肢が狭い。
- 地域的に、理系的経験に関する資源が少ない。（イベント等の開催頻度が低い、イベント等へのアクセスが悪い 等）
- 家庭内に大学に関する有形無形の資源が少ない。（親世代における大卒者の比率が低い 等）

■「５万人未満」の地域において今後求められる取組として、大きく以下の２点が挙げられる。

➢ 高等教育機関へのアクセスの改善（情報提供等を通じた、理工系分野への進学・職業イメージの向上）

- 生徒の進学意欲を高める観点から、理工系の学部で学んだり研究したりする内容の具体的なイメージや、卒業後の理工系分野での就職に関する情報提供を、中学生や高校生に対して積極的に実施。
- 家庭環境や居住地域により進学しにくい生徒に対し、大学進学及び入学後のサポート等を促進することも有効。



➢ 幼少期からの体験やイベント等を通じた、理工系分野への興味を深める機会の創出

- 出前実験教室やオンライン教室の開催のほか、スクールバス等を活用したイベントへのアクセスの向上。
- ５万人未満の市町村の児童・生徒が参加しやすいような工夫を講じるとともに、参加者の性別が偏らないよう、児童・生徒及びイベント登壇者の性別統計収集を必須とすることが望まれる。
- 市町村の協力体制の下、公民館等の地域の拠点を活用したオンラインイベント（パブリックビューイング等）の開催も一案。

２．内閣府の取組

理工チャレンジ（リコチャレ！） ～女子生徒等の理工系への進路選択を促進～
取組概要



リコチャレは、女子中高生等が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択することを応援するため、平成17年（2005年）より内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組です。



取 組

夏のリコチャレ

・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
・内閣府・文科省・経団連がサポート
・令和８年度実績 113団体225イベント実施
約15,000名が参加

若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業

・人口5万人未満の市区町村の自治体や学校へ、企業・大学等の理工系人材を派遣

STEM Girls Ambassadorsによる理工系女性人材育成



・STEM Girls Ambassadorsを派遣し、全国各地で講演等を開催

募集

リコチャレ応援団体

・理工チャレンジの趣旨に賛同する大学、企業、学術団体等 986団体
（令和８年10月21日現在）

理工系女子応援ネットワーク

・リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体
239団体
（令和８年10月21日現在）

理工系女子応援ネットワーク会議

・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

ウェブサイト「理工チャレンジ」

・リコチャレとは？
・ イベント情報
・先輩からのメッセージ
・ロールモデル情報
・ 団体からの応援メッセージ
・シンポジウム
・調査研究等

理工チャレンジ
～女子中高生・女子学生の理系分野への選択～

シンポジウム

・有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者（ロールモデル）による情報発信
・IT業界で活躍する女性(ロールモデル)提示等

ウェブサイト「理工チャレンジ」

【事業概要】 https://www.gender.go.jp/c-challenge/index.html

リコチャレ応援団体（※）の紹介、イベント等の掲載。
そのほか、先輩理工系女性からのメッセージを掲載するとともに、質問も可能。
※リコチャレ応援団体：986団体（うち、具体的な支援を行っている理工系女子応援ネットワーク団体：239団体）
応援団体数内訳（行政機関：66団体、企業：338団体、学術・研究機関等：141団体、大学等：384団体、その他：57団体）

（令和８年10月21日現在）







進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2026
動画公開セミナー（シンポジウム）

【事業概要】
- 女子中高生、保護者、教員等を対象に、内閣府・文部科学省・JST・経産省の共催にて開催
- 令和８年７月公開

※氏名五十音順

進路で人生どう変わる？
理系で広がる私の未来２０２６
動画公開セミナー



基調講演　～マダム、これが俺たちのメトロだ！～

阿部　玲子

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
執行役員　兼　インド現地法人会長

プロフィール
山口大学工学部建設工学科を卒業後、神戸大学大学院で土木工学の修士号取得。建設会社入社後、国内の大型地下構造物の設計に携わる。その後、ノルウェー工科大学に留学し修士号取得。台湾新幹線建設に従事後、コンサルタント会社に転職し、ウクライナ、インドネシア、インドなどで鉄道事業に従事。アーメダバードメトロ事業ではインド初の女性プロジェクトマネージャーに就任。現在はインド新幹線などに従事する一方、現地法人会長として会社運営も手掛ける。



講演　～「伝わる」を科学でデザインする研究　　認知心理学は文系？理系？理系文系選択や大学の学部選択などで悩んでいる人へ～

大山　潤爾

国立研究開発法人　産業技術総合研究所
人間社会拡張研究部門　主任研究員

プロフィール
専門は認知心理学。国の研究所や大学で、人が情報を理解する仕組みを行動実験や生理計測などで調べて、「伝わる」デザインを科学的に研究しています。また、性別や年齢や障がいなど多様な認知特性を調べて、伝えたい人に合わせたデザインや支援方法の研究や、アバターなどXR技術を使った心と体の関係と次世代コンテンツ体験についても研究しています。修士（工学）/修士（神経科学）/博士（学術）。趣味は、映画鑑賞とカフェ巡り。



理系で活躍する先輩による経験談発表

太田　圭

埼玉大学 大学院理工学研究科　助教

プロフィール
1994年生まれ、大阪府豊中市出身。筑波大学卒業後、シンガポール・南洋理工大学大学院へ進学してPh.D.を取得し、近畿大学での助教経験を経て、現在は埼玉大学大学院理工学研究科で助教を務める。専門は有機典型元素化学で、ケイ素やホウ素などを用いた新しい分子の設計と合成を行っている。将来の化学の教科書に載るような新しい発見を目指し、日々の研究と教育を行っている。



大谷　初季

文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課　係員

プロフィール
神奈川県出身。分子と光の相互作用に興味をもち、ブリティッシュコロンビア大学理学研究科に進学し、2023年に博士号を取得。大学院では、水素分子の超流動応答を明らかにする研究に挑む。博士課程修了後、基礎科学研究を担う若手研究者の環境整備や活躍促進に関心を持ち、2024年に文部科学省に入省。現在は、博士課程学生をはじめとする「科学技術人材」の育成と活躍促進のための施策の推進に取り組む。



都甲　梓

国立研究開発法人産業技術総合研究所　研究戦略本部　サーキュラーテクノロジー実装研究センター　プラスチックマテリアルリサイクル研究チーム（兼務）機能化学研究部門　高分子化学研究グループ　研究員

プロフィール
1993年生まれ。佐賀県出身。2016年に東京大学農学部生物素材化学専修を卒業後、2018年に同大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻修士課程を修了。化学メーカーの研究職として勤務するも社会課題を解決するような公的研究機関での研究職を志し、2019年同博士課程に進学し2022年に学位を取得。2022年４月より国立研究開発法人産業技術総合研究所研究員。現在２回目の社会人が５年目。X線や陽電子などの放射線を用いて、生分解性プラスチックやリサイクルプラスチックなどを分析し、プラスチックにおける環境問題解決と経済性の両立を目指している。



保坂　玲

株式会社デンソー　サーマルシステム品質保証部　担当

プロフィール
東京都出身、中高一貫の女子校からお茶の水女子大学理学部物理学科・大学院生活工学共同専攻へ進学。大学院ではファン付き衣服に関する研究を行う。「モノを扱う」「日本が強い分野」「グローバル」な会社で働きたいと思い(株)デンソーへ入社。以降一貫してカーエアコン用コンプレッサーの品質保証を担当。現在入社８年目（７年目後半から産休・育休中）。



STEM Girls Ambassadors派遣

【事業概要】
女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するため、理工系分野で活躍する多様な女性の姿（ロールモデル）を示すとともに、女子生徒等の理工系進路選択を社会全体で応援する気運醸成を図ることを目的。ロールモデルの提示策を強化すべく、令和４年度に、メッセージ動画を男女共同参画局公式YouTubeにて公開。

【主な活動】

1. 地方公共団体や学校等において開催されるセミナー、シンポジウムでの講演等
2. 広報誌やWebサイト上でのメッセージ発信
3. その他本事業の趣旨に鑑み相応しい活動

Ambassador一覧（令和８年９月18日時点）　※敬称略・五十音順	
阿部　玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル執行役員兼インド現地法人代表取締役会長
飯島　さつき	日本海洋事業株式会社　有人潜水調査船パイロット
杉本　雛乃	経済産業省
ズナイデン房子	日本マクドナルド株式会社　取締役上席執行役員　ＣＭＯ
田中　純子	広島大学理事・副学長／特任教授
玉城　絵美	H2L,Inc.CEO、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授
中島 さち子	音楽家・数学研究者・STEAM 教育者
行木　陽子	中央大学　特任教授
山崎 直子	宇宙飛行士
渡辺　美代子	NPO法人ウッドデッキ 代表理事



令和８(2026)年度イベント数（実施予定を含む）	
令和８(2026)年度イベント数	16イベント
令和７(2025)年度イベント数	
令和７(2025)年度イベント数	12イベント

STEM Girls Ambassadors派遣（講演等の様子）



実地での講演



実地での講演



オンライン開催での講演



座談会

令和７年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業

●事業の目的

人口5万人未満の市区町村を重点的に対策すべき地域と定め、若手理工系人材による出前授業を実施することで、女子生徒の理系的体験の機会の創出と、地域におけるロールモデルの掘り起こしを目的とする。

●事業概要

・実施地域：５地域（人口5万人未満の市区町村から選定）

実施地域	実施日
京都府京丹後市	令和７年11月08日
福岡県宇美町	令和７年11月16日
埼玉県上里町	令和７年12月20日
香川県多度津町	令和８年１月18日
岡山県笠岡市	令和８年１月24日

・参加対象 ：小・中・高校女子生徒（男子生徒も可）、保護者・教員・地域住民等

・参加者数 ：50名程度（地域の教育委員会や学校と連携して募集）

・ロールモデル：理工系分野への従事期間が10年以内の若手女性人材（1地域3名）
（当該地域の地元企業・大学・研究機関等で活躍する理工系人材等）

・プログラム ：ロールモデルの講演や専門分野に応じた実験等の体験
（2～３時間程度）

・参加者アンケート：出前授業の満足度、理工系進路選択への興味関心度、
理工系進路選択についてのメリット・デメリット等

●令和７年度開催実績（総括）

・延べ参加者数：240名
（うち、児童・生徒：145名、
保護者・教員等：95名）

・イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒等の割合：98％



【授業の様子】



３．文部科学省の取組

文部科学省における理工チャレンジに関する取組

- 「令和８年度「理工チャレンジ」説明会」について、教育委員会・教職員・大学等に周知
- 教育委員会等への事務連絡発出による「夏のリコチャレ2026～理工系のお仕事体感しよう！～」の周知
- 「夏のリコチャレ2026～理工系のお仕事体感しよう！～」を内閣府・経団連と共催
- 「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2026動画公開セミナー」（文科省職員がロールモデルとして出演）の文科省SNS・メールマガジンでの周知



文部科学省における主な取組

- 女子中高生の理系進路選択支援プログラム
- 学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム
- 学校と地域で育む男女共同参画の促進
  （小学生・中学生向けの教材）
- 入学者の多様性確保に向けた選抜について

第６次男女共同参画基本計画における文部科学省関連主要事項

第2分野　あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画拡大

●学術分野
- 若手研究者含む女性研究者の比率向上や学長、副学長及び教授における女性登用を促進するため、国立大学法人運営費交付金や私立大学等経常費補助金を始めとする大学への資源配分において、引き続きインセンティブを付与するとともに、女性を含む様々な人材が活躍できる環境整備のため、現在の仕組みの効果や課題も踏まえつつ、必要な施策を検討する。
- ダイバーシティ実現に取り組む大学等を支援。

●教育分野
- 管理職を含む学校関係者が男女共同参画の意義を理解し、女性管理職登用を促進するため、研修プログラムの周知・普及を行う。

【関連成果目標】
○初等中等教育機関の教頭以上に占める女性の割合
（2025年）校長：22.9%／副校長・教頭：27.0%
⇒（2030年）校長：27%／副校長・教頭：31%
○大学の教員に占める女性の割合
（2025年）教授等：20.1%／准教授：28.0%
⇒（2030年）教授等：23%／准教授：30%
（2025年）講師：35.5%／助教34.1%
⇒(2030年)講師：37%／助教：37%・・・新設
（2022年）助教以上（分野別）　・・・新設
工学系：8%／理学系：11%　／社会科学系：23%／
人文科学系：36%／農学系：15%／医歯薬系：32%
⇒（2030年）工学系10%／理学系：15%　／社会科学系：25%／
人文科学系：40%／農学系：20%／医歯薬系：35%
○都道府県及び市町村の教育委員会のうち、
女性の教育委員のいない教育委員会の数
（2023年）50／1,852　⇒　（2030年）０

●スポーツ分野
- 「スポーツ団体ガバナンスコード」で設定された女性理事の目標割合（40%以上）達成に向けて、各中央競技団体における目標設定及び具体的方策の実施を促し、女性理事のいない各中央競技団体をなくすための支援を実施。

【関連成果目標】○スポーツ団体における女性理事の割合
（2024年10月）32.7%　⇒（2020年代の可能な限り早期に）40%

第4分野　生涯を通じた男女の健康への支援

●包括的な健康支援のための体制・環境の整備
- 加盟団体が連携・協同して、身近な地域で健康づくりを図るための環境整備を行う等、女性における運動・スポーツへの参加促進に向けた取組を推進。

第5分野　テクノロジーの進展・利活用の広がりを踏まえた男女共同参画の推進

●女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成
- 女子児童・生徒、保護者及び教員を対象として理工系分野に対する興味・関心を喚起する地域における取組を支援し、取組の成果等を全国に展開。
- 未就学児がジェンダーバイアスにより自分の可能性を狭めてしまわないよう、幼少期の教育現場等における固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に資する方策について周知・普及に努める。

【関連成果目標】
○大学の理工系の教員（講師以上）に占める女性の割合
（2022年）理学系：9.3%／工学系：6.7%
⇒理学系：12.0%／工学系：9.0%
○大学（学部）の理工系の学生に占める女性の割合
（2025年）理学系：29.4%／工学系：17.9%　⇒前年度以上

第6分野　ジェンダーに基づくあらゆる暴力を容認しない社会基盤の形成と被害者支援の充実

●ジェンダーに基づくあらゆる暴力の予防と被害者支援の基盤強化
- 「生命（いのち）の安全教育」について、内容面の充実を図りつつ、教員への研修機会の充実や更なる普及のための実効的な手段を検討し、全国的な取組の実施を推進。

●こどもに対する性犯罪・性暴力の根絶に向けた対策の推進
- 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止・早期発見・対処に関する取組を推進。

第11分野　教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革、理解の促進

●男女平等を推進する教育・学習の充実
- 初等中等教育において男女共同参画の重要性についての指導が充実するよう、教員研修の充実、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見の解消と固定観念の打破を図るために開発した学校教育や社会教育で活用できる学習プログラムの普及等を行う。

●多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実
- 大学や地方公共団体、男女共同参画センター等と連携し、学び直しを通じて女性のキャリアアップやキャリアチェンジ等を総合的に支援する取組を推進。

女子中高生の理系進路選択支援プログラム

令和９年度要求・要望額　122百万円
（前年度予算額　92百万円）
※運営費交付金中の推計額

事業の目的・目標

○　女子中高生の理工系分野に対する興味・関心を高め、更に意欲・能力を伸長させる機会を提供することで、理工系分野への進学を促進するため、科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生などと女子中高生との交流機会の提供や、シンポジウムや出前授業などの取組に加え、地域や企業等と連携した取組などを実施する大学等を支援する。

支援の概要

○　採択期間：３年間

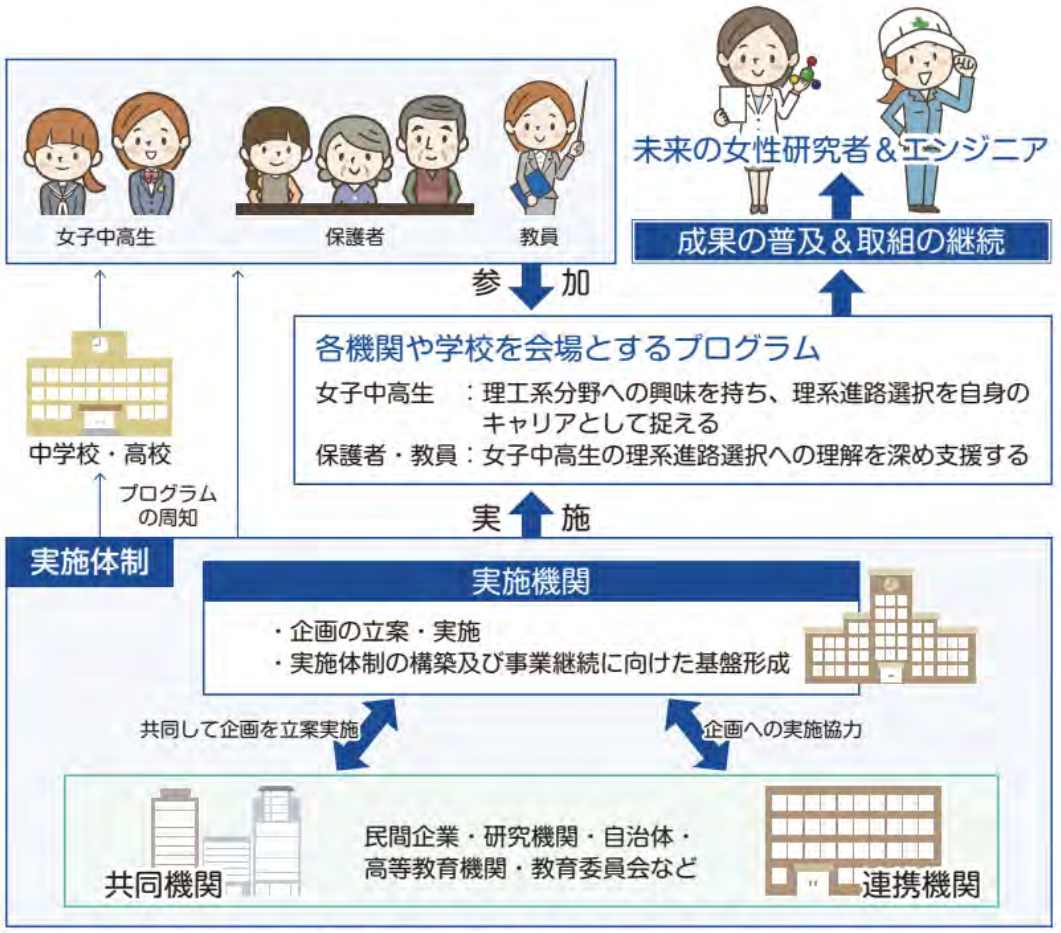
○　実施規模：15拠点程度

うち、令和９年度新規：10拠点程度

○　支援額：年間300～600万円/機関

○　対象：女子中高生、保護者、教員等

○　内容：シンポジウム開催、実験、出前講座、
理系キャリア相談会等



女子中高生の理系進路選択支援プログラムの概要

女子中高生の理系進路選択支援プログラムの成果

児童・生徒の興味・関心の向上

「文理選択を迷っている/考えていなかった」参加生徒のアンケート回答結果（R7・全実施機関総計）

科学技術や理科・数学に対する興味・関心が高まった	**83%**
科学技術や理科・数学に対する学習意欲が高まった	**76%**
理系の進路を前向きに選択しようと思うようになった	**67%**
理工系分野の職業につきたいと思うようになった	**53%**

左表集計対象：
実施機関の取組に参加した生徒のうち、「文理選択を迷っている/考えていなかった」と回答した2,489～2,513名※
※無回答者は集計から省いた

理系女性のロールモデルの周知



熊本大学の
ロールモデル講演会



佐賀大学のロールモデル集

保護者・教員へのアプローチ

1．保護者への進路選択支援イベント

大学教員等から保護者に対して、理系進路選択に関する情報提供を行う



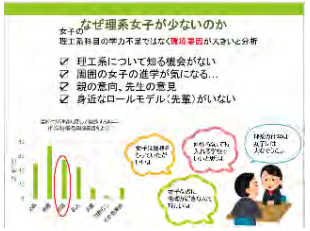
保護者のための男女共同参画入門講義

2． 教員向けの情報提供

校長会等の既存の集会を活用し進路選択支援に関する理解を深める講演を行う



佐賀県高等学校校長会での講演



講演スライドの抜粋

＜令和2年度　次世代のライフプランニング教育推進事業＞

学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム

～「無意識の思い込み」（アンコンシャス・バイアス）に気付くために～

文部科学省

男女共同参画の推進には、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくことが必要です。文部科学省では、初等中等教育の学校現場における男女共同参画について、教員自身の「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付きを促し、男女共同参画の基本理念や意義を整理するとともに、日常の教育活動や学校運営などを男女共同参画の視点から捉え直し、学校の管理職や教員自身の指導のヒントにつながる研修プログラムを作成しました。

＜研修プログラムで提供する教材＞

教材は４種類の「**動画教材**」の他、「**ワークシート**」、研修プログラムを企画・実施するための「**実施の手引き**」があります。

◆ 動画教材

ケース動画（１１の教育現場）の他、ケース動画のポイントを示す解説動画、社会的な背景をまとめた講義動画などを掲載しています。

主な対象	ケース（場面）			
小学校教員【初期・中堅】	ケース1 教室の日常（家庭科・掃除）	ケース2 学校行事（卒業式）	ケース3 小学校でのキャリア教育	ケース4 ワーク・ライフ・バランス
中学校・高校教員【初期・中堅】	ケース5 教室の日常（理科の実験）	ケース6 学校行事（体育祭）	ケース7 大学の専攻分野の選択	
管理職／管理職候補 教育委員会教職員【管理職・ミドルリーダー】	ケース8 教員の日常（校務分掌）	ケース9 教員の日常（校長会議）	ケース10 ミドルリーダーへの声がけ	ケース11 男性教員の育休取得

◆ ワークシート

ケース動画を視聴したあとに、ケースを見て気付いたこと、ディスカッションをして思ったこと、解説動画を視聴して研修を振り返り、考えたこと等を記入します。

◆ 実施の手引き

動画教材を対象や時間、目的等に合わせて組み合わせて活用し、教員研修プログラムを企画・実施するための手引きです。

＜研修の流れ＞

【基本ワーク（１回のワークでＳＴＥＰ１～３を行う場合）】

①時間　６０分　②形態　校内研修や教育センター等主催

※「実施の手引き」では、応用編として25分～90分のワークの展開例も示しています。



＜詳しくは、こちらから＞

●男女共同参画の推進に向けた教員研修モデルプログラムの開発
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/detail/1416258_00002.htm

学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム

ケース7　大学の専攻分野の選択

放課後、クラスの生徒と雑談している時、生徒は、進学する大学や専攻分野について迷っていることや、親の意見も気にしていることなどを話し出しました。



女子生徒「最近、工学部っておもしろそうと思っているんです。だけどうちの親は、文系のほうが成績がいいのだし、就職先も見つけやすいから文系に行ったほうがいいって言うんです。それに、女なんだから東京なんかに行かないで家から通える大学にしろとか、浪人もダメだとかいうんですよ。どう思います?」

女子生徒の発言や気持ちをどう思いますか。
女子生徒の親の発言や気持ちをどう思いますか。

文部科学省

学校と地域で育む男女共同参画の促進

小・中学生を対象に、男女の尊重や自分を大事にすることの理解、固定的な性別役割分担意識解消の理解を深める教材及び指導の手引き等を作成しました。

＜小学生・中学生向け教材＞

4種類の教材（小学生低学年・中学年・高学年、中学生向け）と教育プログラムを企画・実施するための**「指導の手引き」**があります。

本教材は、児童生徒の発達の段階や学校の状況を踏まえ、各学校の判断により、社会科、家庭科、技術・家庭科、道徳、特別活動を含む教育課程内外の様々な活動を通じて活用することが考えられており、授業、指導に当たっては、教材の一部分を活用することも可能です。



中学生向け教材

＜保護者向け啓発資料＞

保護者に対し、教育内容や男女共同参画の意義を説明するとともに、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み等について伝えるための資料です。小学生向け家庭学習シートもあります。





保護者向け啓発資料

＜詳しくは、こちらから＞

●学校と地域で育む男女共同参画の促進
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/detail/1376840_00004.htm

入学者の多様性確保に向けた選抜について

■背景

○　多様な価値観が集まり新たな価値を創造するキャンパスを実現する観点から、各大学の創意工夫の一方策として、アドミッション・ポリシーに基づき、各大学が**キャンパスに多様性をもたらすことができると考える者を対象とする選抜を実施することも有効**

○　**そうした選抜が実施できることを明確にするため**、入学者選抜の基本方針である「大学入学者選抜実施要項」の**入試方法に、令和５年度より「多様な背景を持った者を対象とする選抜」を追加**

■令和９年度大学入学者選抜実施要項（令和８年５月27日付文部科学省高等教育局長通知）（抄）

第３　入試方法

１　（略）

２　上記１（１）から（３）の入試方法【補記：一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜】において、各大学の判断により、入学者の多様性を確保する観点から、入学定員の一部について、以下のような多様な入学者の選抜を工夫することが望ましい。

（１）高等学校の専門教育を主とする学科（以下「専門学科」という。）又は総合学科卒業生及び卒業見込み者

（２）帰国生徒（中国引揚者等生徒を含む。）又は社会人

（３）家庭環境、居住地域、国籍、性別等に関して多様な背景等を持った者

家庭環境、居住地域、国籍、性別等の要因により進学機会の確保に困難があると認められる者その他**各大学において入学者の多様性を確保する観点から対象になると考える者**（例えば、理工系分野における女子等）について、**入学志願者の努力のプロセス、意欲、目的意識等を重視した評価・判定を行うことが望ましい。**

その際には、こうした**選抜の趣旨や方法について社会に対し合理的な説明**を行うことや、入学志願者の**大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を適切に評価**すること。

【参考】 理工系の女子を対象とする選抜を実施する国公立大学（令和９年度入学者選抜）

【 42大学 53学部（国立：37大学 47学部、公立：5大学 6学部） 】

※青塗：令和9年度入学者選抜より実施するもの【４大学・4学部】

	大学	設置主体	学部等	入試方法	募集人員
1	室蘭工業大学	国立	理工	総合型	15
2	北見工業大学	国立	工	総合型	27
3	岩手大学	国立	理工	総合型	11
4	山形大学	国立	工（フレックスコース）	総合型	3
5	福島大学	国立	理工	総合型	8
6	東京科学大学	国立	理学院	総合型	15
			工学院	総合型	70
			物質理工学院	総合型	25
			情報理工学院	総合型	20
			環境・社会理工学院	総合型	9
			生命理工学院	学校推薦型	15
7	金沢大学	国立	理工学域	総合型	49
8	福井大学	国立	工	総合型／学校推薦型	15／10
9	滋賀大学	国立	データサイエンス	総合型	20
10	京都大学	国立	理	総合型	15
			工	学校推薦型	24
11	広島大学	国立	理	総合型	7
			工	総合型	15
			情報科	学校推薦型	15
12	香川大学	国立	創造工	総合型	3
13	愛媛大学	国立	工	総合型	13
14	九州大学	国立	工	総合型／学校推薦型	9／10
15	佐賀大学	国立	理工	総合型／学校推薦型	12／3
16	琉球大学	国立	工	総合型／学校推薦型	10／10
17	秋田大学	国立	総合環境理工	学校推薦型	15
18	茨城大学	国立	工	学校推薦型	15
19	埼玉大学	国立	工	学校推薦型	20
20	千葉大学	国立	情報・データサイエンス	学校推薦型	15
21	電気通信大学	国立	情報理工学域	学校推薦型	5
22	横浜国立大学	国立	理工	学校推薦型	8
23	新潟大学	国立	工	学校推薦型	25
24	富山大学	国立	工	学校推薦型	15
25	山梨大学	国立	工	学校推薦型	14
26	静岡大学	国立	工	学校推薦型	4
27	名古屋大学	国立	工	学校推薦型	29
28	名古屋工業大学	国立	工	学校推薦型	28
29	三重大学	国立	工	学校推薦型	8
30	大阪大学	国立	基礎工	学校推薦型	20
31	神戸大学	国立	システム情報	学校推薦型	15
32	和歌山大学	国立	システム工	学校推薦型	10
33	島根大学	国立	総合理工	学校推薦型	20
			材料エネルギー	学校推薦型	6
34	長崎大学	国立	情報データ科	学校推薦型	10
			工	学校推薦型	12
35	熊本大学	国立	情報融合学環	学校推薦型	8
36	大分大学	国立	理工	学校推薦型	14
37	宮崎大学	国立	工	学校推薦型	14
38	公立小松大学	公立	生産システム科	学校推薦型	5
39	滋賀県立大学	公立	工	学校推薦型	15
40	兵庫県立大学	公立	工	学校推薦型	17
41	山陽小野田市立山口東京理科大学	公立	工	学校推薦型	13
42	高知工科大学	公立	データ＆イノベーション学群	学校推薦型	若干名
			システム工学群	学校推薦型	若干名

注：「令和９年度国公立大学入学者選抜の概要」及びウェブ上に公表されている各大学の募集要項等に記載された募集人員を基に作成。

４．夏のリコチャレ2026振返りと2027年度に向けて

夏のリコチャレ2026　～理工系のお仕事を体感しよう！～

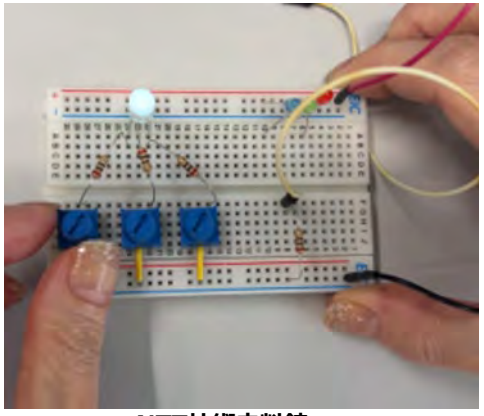
【事業概要】
・主に女子中高生等を対象に、夏休み期間を利用して、企業・大学・学術団体等が実施する
　理工系女子応援イベントに関する広報事業。
・内閣府・文部科学省・日本経済団体連合会の共催事業。
・職場見学、工場見学、シンポジウム、実験教室、先輩女性社員との交流等



夏のリコチャレ2026
開催実績
113団体225イベント
約15,000名が参加



ものづくりのヒミツ発見！～ベアリング組立体験＆工場見学ツアー
ONLINE CHALLENGE～（日本精工株式会社）



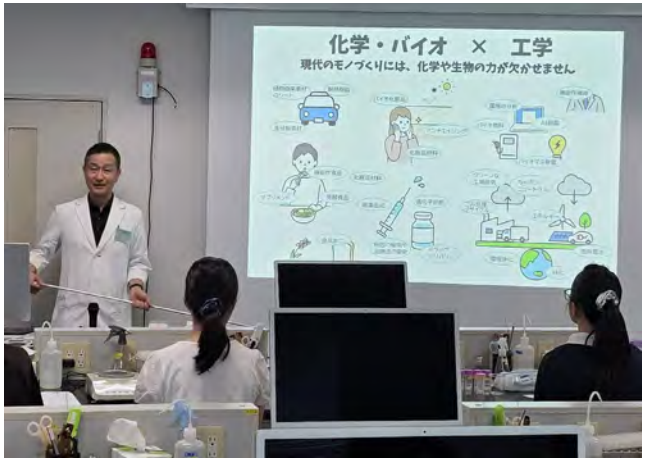
NTT技術史料館
夏休み体験型科学教室
（NTT株式会社）



こども霞が関見学デー「求む！未来の理工系女子！」
（株式会社エスワイシステム・内閣府男女共同参画局）



飛行機のエンジンってどう作るんだ!?お仕事体験＆工場見学
（株式会社IHI）



KAITサイエンスラボ＆理系女子座談会
（神奈川工科大学）

夏のリコチャレ2026　～理工系のお仕事を体感しよう！～ 開催実績

夏のリコチャレ2026　開催実績

- **参加団体数：113**

  企業：48　大学等：32　地方公共団体：12　学術団体・その他：21

- **イベント数：225**

  オンライン(実地開催とのハイブリッド含む)：21　実地：204

- **参加者数：約15,000名**

【参考】夏のリコチャレ2025 開催実績

- **参加団体数：**129
- **イベント数：**235
- **参加者数：** 8,300名以上



2026年度の参加者数増加の要因は、今年度新たに「夏のリコチャレ」に登録いただいた大学等による大規模イベントの実施や、昨年度以前から継続して実施いただいているイベントの参加者数増によります。



夏のリコチャレ2026で実施した告知・周知

■**事務連絡発出先**
- ・都道府県男女共同参画主管課（６/30）
- ・政令指定都市男女共同参画主管課（６/30）
- ・各都道府県教育委員会担当課（７/１）
- ・各指定都市教育委員会担当課（７/１）
- ・各都道府県私立学校主管部課（７/１）
- ・構造改革特別区域法第12 条第1 項を受けた学校設置会社を所轄する各地方公共団体の学校設置会社担当課（７/１）
- ・附属学校を置く各国公立大学法人担当課（７/１）
- ・各文部科学大臣所轄学校法人担当課（７/１）

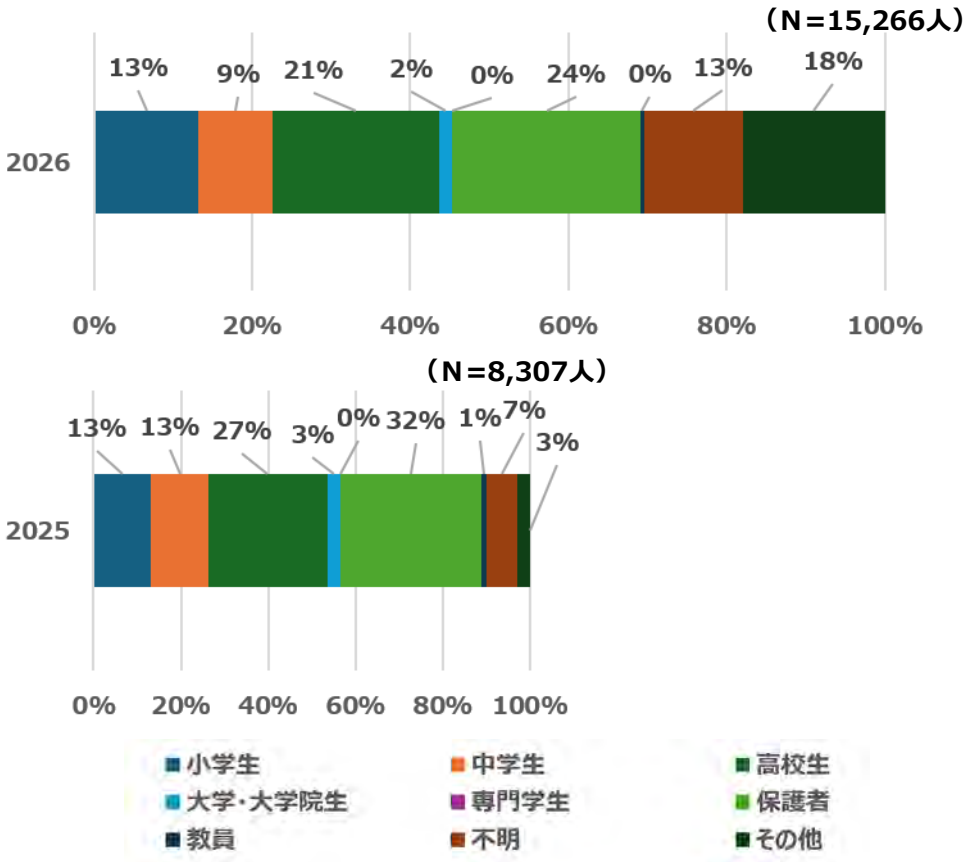
■**その他周知**
- ・男女共同参画局SNS（Facebook、X）
  （いずれも7/3～８/28の間、計９週にわたり毎週金曜日に情報配信）
- ・内閣府HP トップページ「トピックス」における周知
- ・内閣府HP「内閣府New Wave」における取組紹介
- ・内閣府メールマガジン「カエル！ジャパン通信」における周知（Vol.252 ６/１発行）
- ・男女共同参画局広報誌「共同参画」（７月号、10月号）



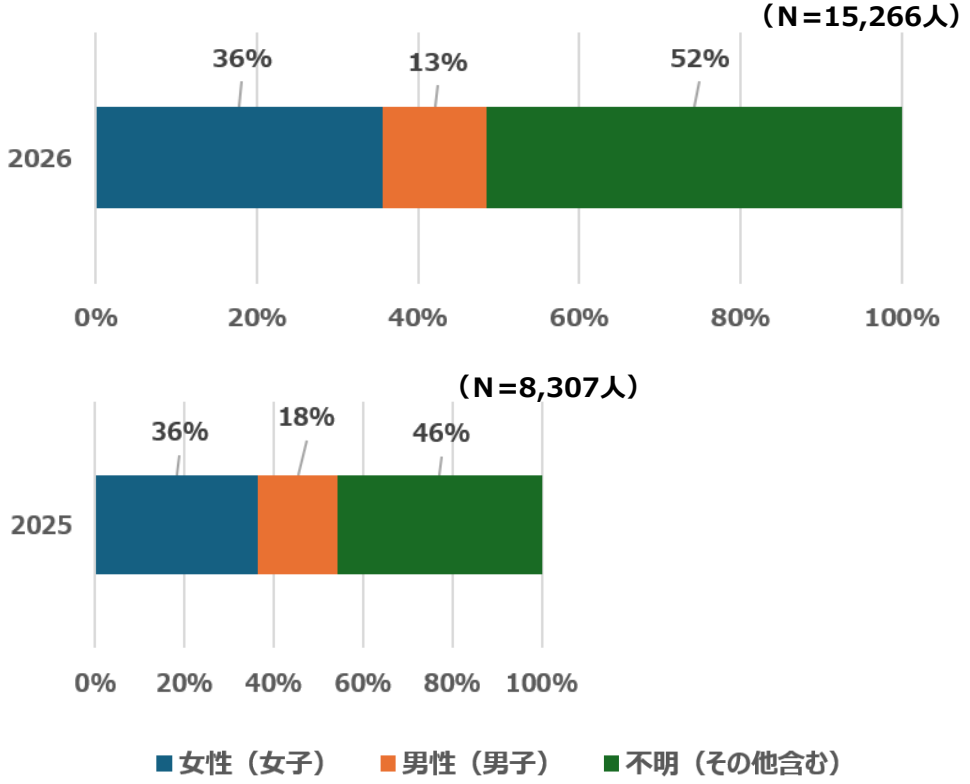
夏のリコチャレ2026　アンケート結果　～参加者の割合　属性別・性別～

◆ 夏のリコチャレ2026イベント実施団体向けアンケートより、集計
- アンケート対象：夏のリコチャレ2026実施団体113団体（うち、有効回答数99団体）

属性別参加者割合



性別参加者割合



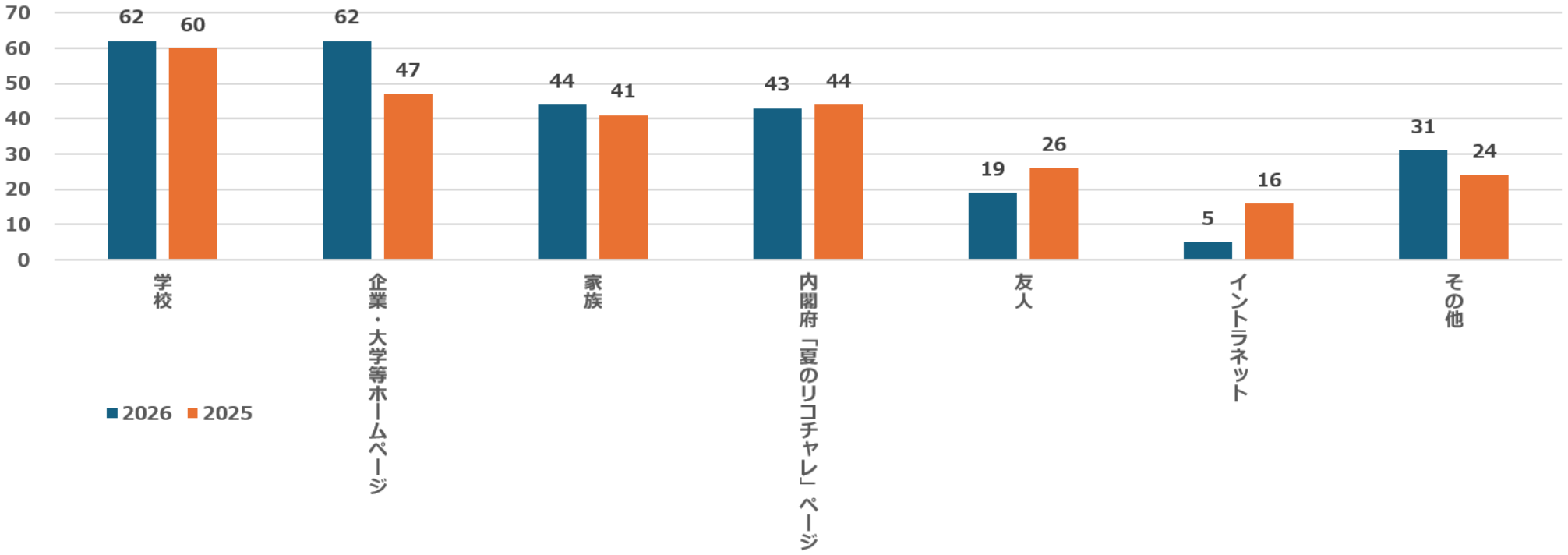
- 昨年と比較して、参加者数は大きく増加していますが、参加割合は大きく変動はありません。
- 本年度も、小・中・高校生に加え、保護者の参加が多く見られます。進路選択の際には保護者や学校の先生方等、身近な人からの影響を受ける場合が多いことから、本人に加えて保護者等への理解を促していくことも重要です。

夏のリコチャレ2026　アンケート結果　～参加者のイベント情報入手経路～

◆ 夏のリコチャレ2026イベント実施団体向けアンケートより、集計
- アンケート対象：夏のリコチャレ2026実施団体113団体（うち、有効回答数99団体）

参加者のイベント情報入手経路　※実施団体による複数選択

N=266件（2026年度）
N=258件（2025年度）

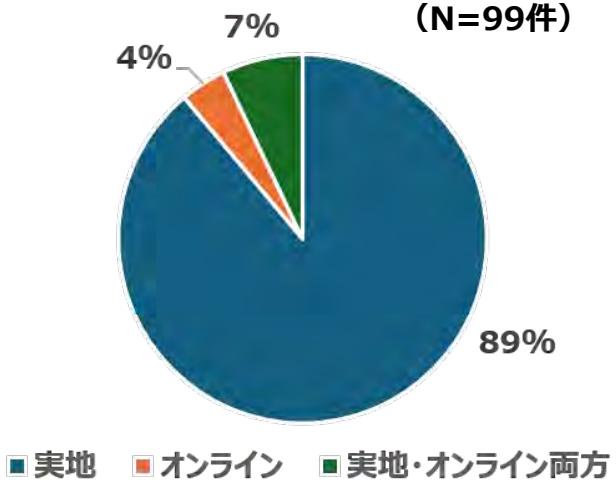


「学校」、「企業・大学等ホームページ」が同数、続いて「家族」、「内閣府『夏のリコチャレ』ページ」経由の順で回答数が多い結果となりました。学校や、実施主体である企業・大学等の情報発信が重要であることが分かります。今年は新たに、内閣府ホームページのトップページ「トピックス」や内閣府ホームページ「内閣府New Wave」においても広報を行いました。来年度も、継続的に取り組んでいきます。

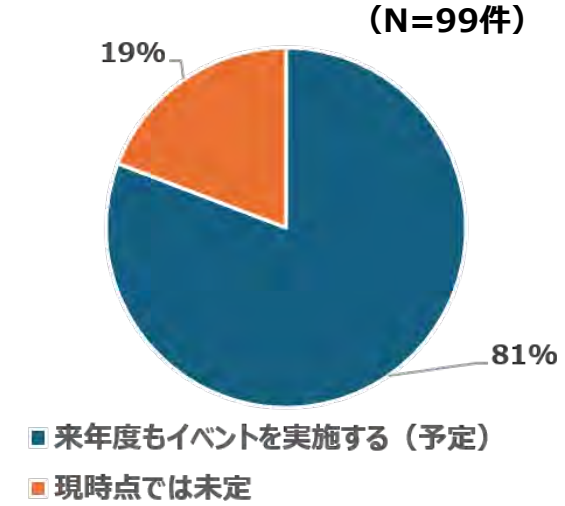
夏のリコチャレ2026　アンケート結果　～実施形態（実地またはオンライン）～

◆ 夏のリコチャレ2026イベント実施団体向けアンケートより、集計
- アンケート対象：夏のリコチャレ2026実施団体113団体（うち、有効回答数99団体）

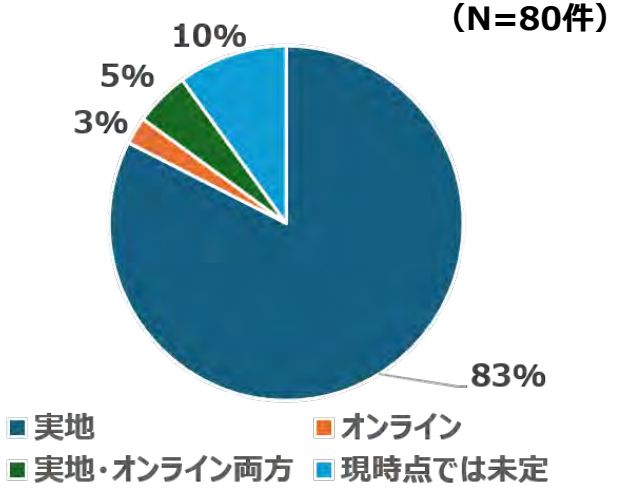
（1）2026年度実施形態



（2）2027年度実施予定



（3）2027年度の実施形態予定

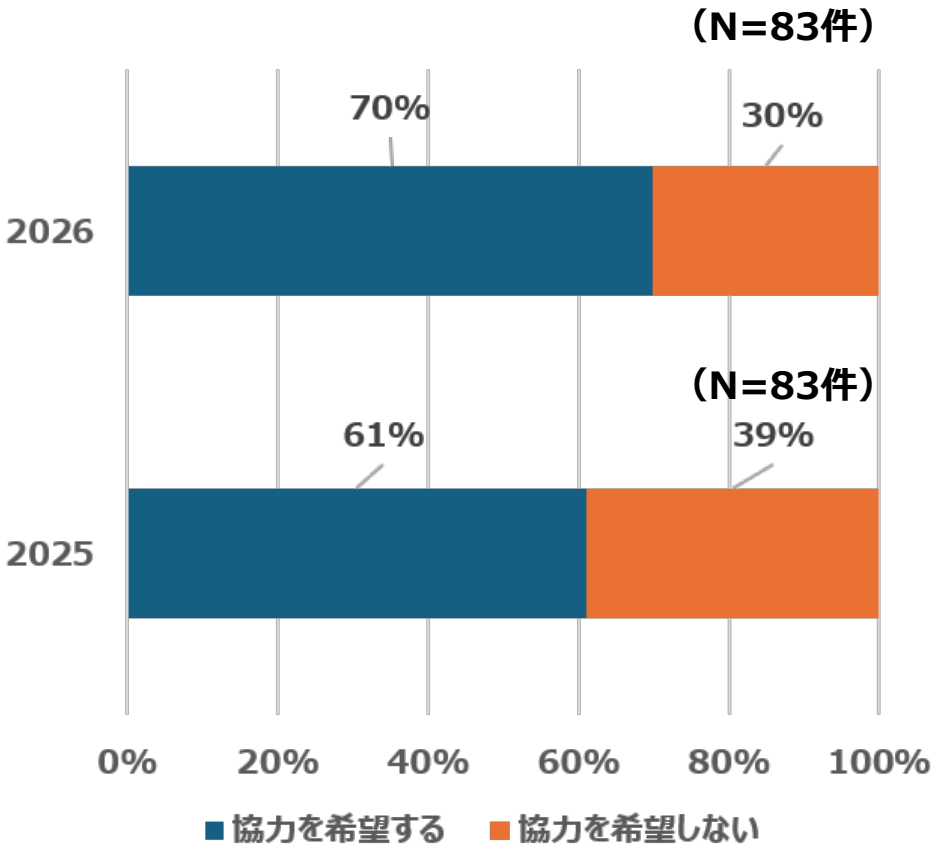


- 今年度は昨年度に引き続き、ほとんどのイベントが実地開催されました。また、約８割の団体が次年度も実施を予定しており、そのうち、約８割の団体が、実地開催を検討しています。
- 実地開催団体からは、「参加者や保護者と、所属する女性社員が直接触れる機会を創ることができ、理工系は男性のものという固定的なイメージの払しょくにつなげることができた」などの感想があり、対面ならではの体験のメリットとして見受けられます。
- オンライン開催実施団体からは、「各会場をつないでテレビ中継のようなイメージで全国のこどもたちと交流できた」といった感想があり、参加者や講師の所在地に関わらずイベントが実施でき、遠方のこどもたちにも参加の機会を提供できることがメリットとして見受けられます。

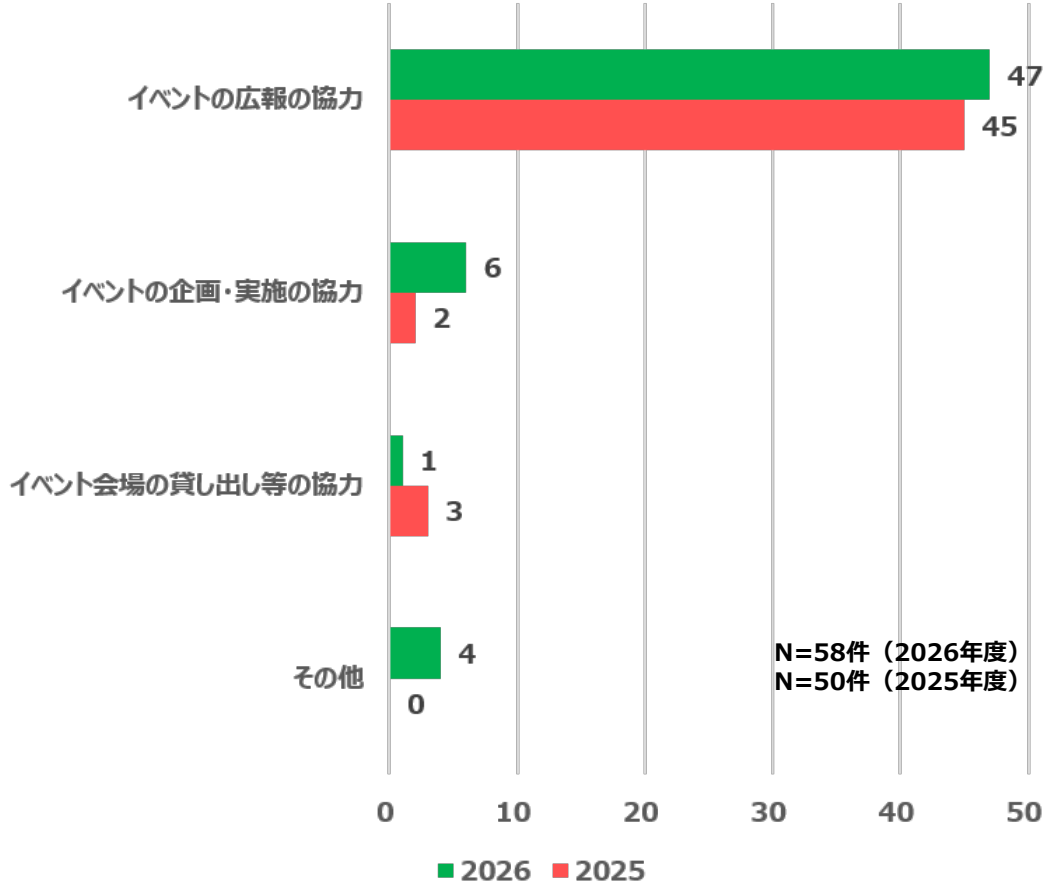
夏のリコチャレ2026　アンケート結果　～自治体への協力希望～

◆ 夏のリコチャレ2026イベント実施団体向けアンケートより、集計
- アンケート対象：夏のリコチャレ2026実施団体113団体（うち、有効回答数99団体）

自治体への協力希望



希望する協力内容

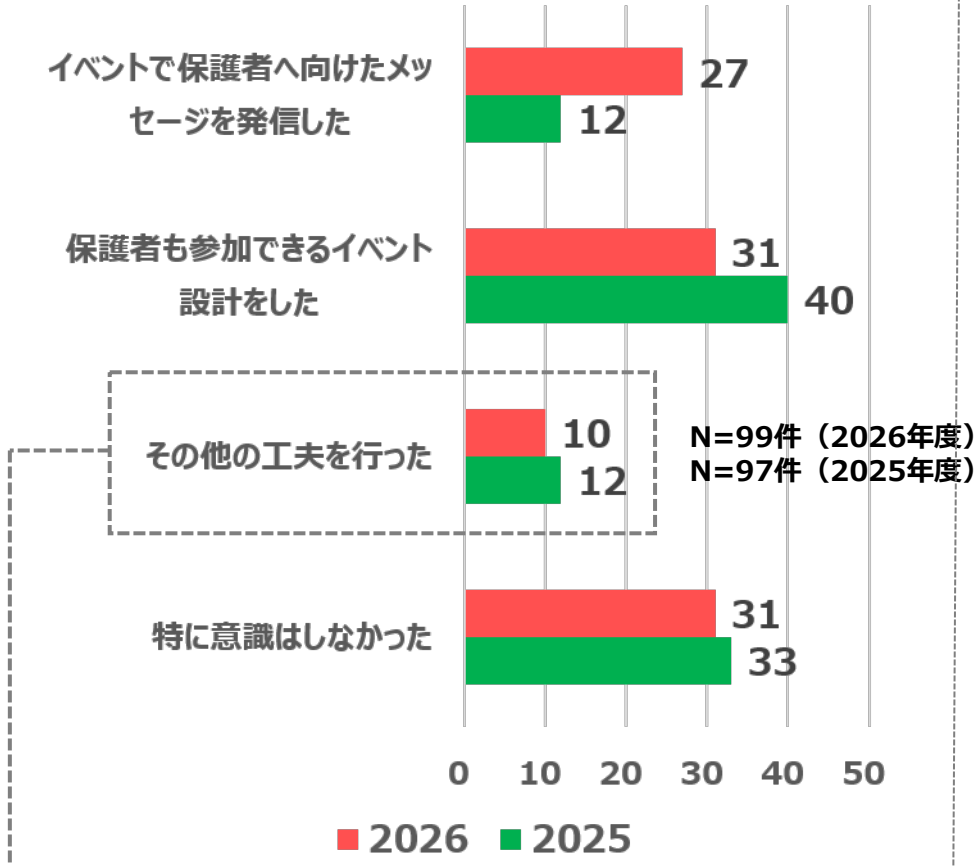


- 約７割の団体が「自治体の協力」を希望しています。
- イベントの内容は充実している一方で、参加者を募る周知・広報に苦労する団体は多く、自治体には「イベントの広報の協力」への期待が寄せられています。

夏のリコチャレ2026　アンケート結果　～保護者を意識したイベント～

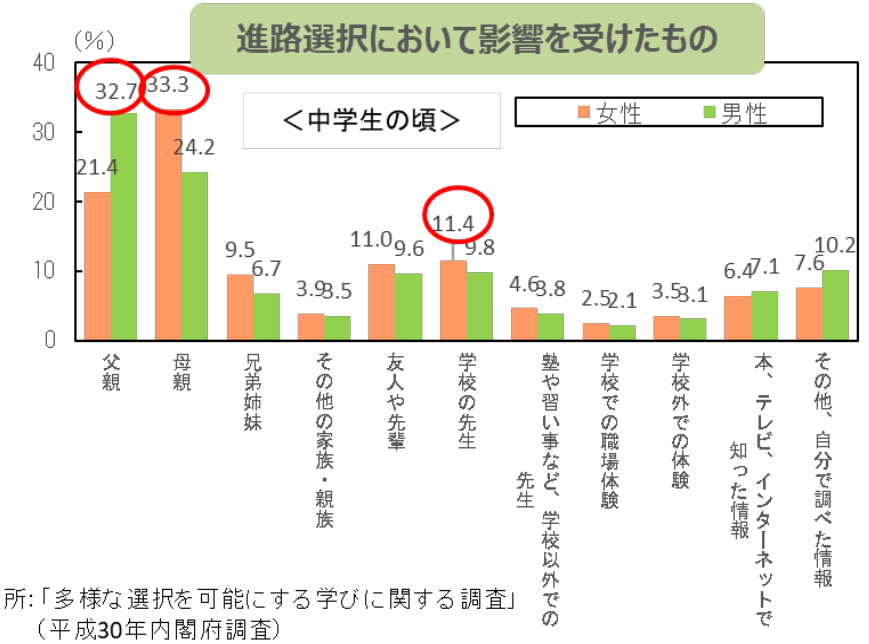
◆ 夏のリコチャレ2026イベント実施団体向けアンケートより、集計
- アンケート対象：夏のリコチャレ2026実施団体113団体（うち、有効回答数99団体）

保護者を意識したイベントの工夫



N=99件（2026年度）
N=97件（2025年度）

※参考：平成３０年内閣府調査より（再掲）



※出所:「多様な選択を可能にする学びに関する調査」（平成30年内閣府調査）

➡進路選択には保護者や学校の先生の影響が大きい

「その他の工夫を行った」の事例

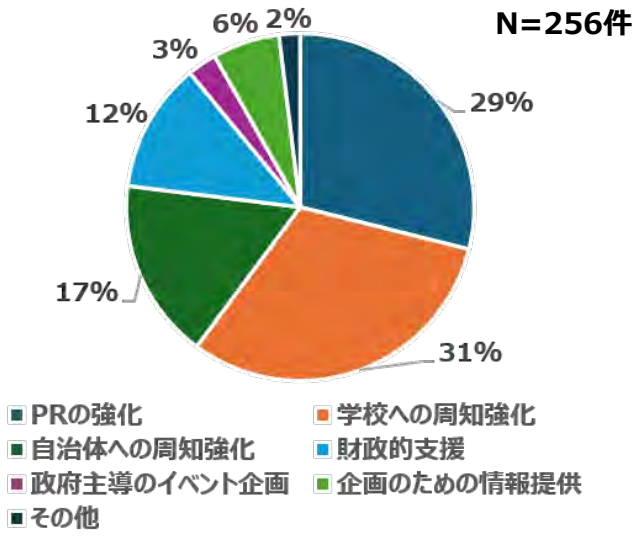
「イベントの実験作業の中で、親子で役割分担を設け、共同作業ができる進行とした」、「子どもたちがグループワークを行っている間に、保護者が理系教員やロールモデルと話せる場を設けた」、「学校の保護者宛のメールを利用して周知や開催案内を行った」等

夏のリコチャレ2026　アンケート結果　～内閣府・文科省・経団連への要望～

◆夏のリコチャレ2026イベント実施団体向けアンケートより、集計
- アンケート対象：夏のリコチャレ2026実施団体113団体（うち、有効回答数99団体）

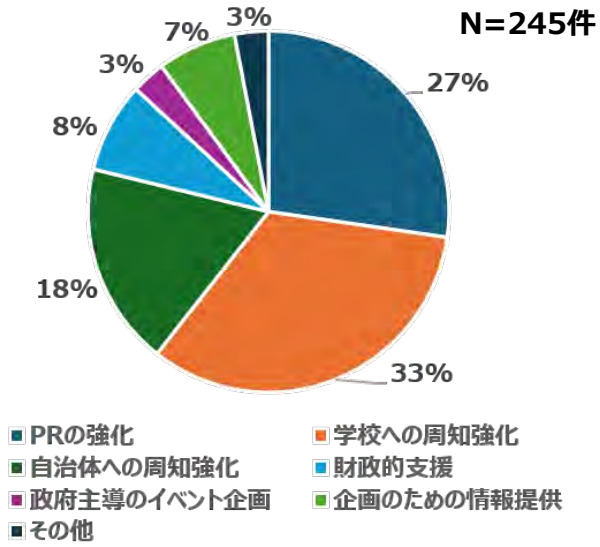
内閣府・文科省・経団連への要望（2026年度）

※各団体複数回答可



内閣府・文科省・経団連への要望（2025年度）

※各団体複数回答可



- 「PRの強化」、「学校への周知強化」への期待が特に高まっています。
- 今年度も内閣府「夏のリコチャレ」特設ページを作成し、「夏のリコチャレ」実施期間にあわせ広報活動を強化しました。今後もさらなるPRの強化に向け尽力します。

夏のリコチャレ2026　アンケート結果　～実施団体が把握したイベント参加者の声・感想～ 企業

「」（カギカッコ）内は、イベント参加者の声

いただいたアンケートの内容を抜粋・一部改変して掲載しています。

仕事内容に魅力を感じた



- 工場で作業着を着て現場を見学するという、社会人にとっては当たり前の体験が、学生にとっては非常に新鮮で刺激的だったようです。その反応を見ていると、実際に現場を見てもらう機会には大きな価値があり、実施しがいがありました。
- 「今まで気にしていなかったようなことが、車椅子を使っている人や弱視の方からすると便利になっているということを知ることができました。当時の担当設計者から工夫した点を聞けたので見方が変わってとても興味深く感じました。車椅子体験をしたことで、違った世界を感じることができました。」
- レーダーの仕組みをドップラー効果で説明するなど、学校の学びとリンクする形で当社の技術を説明したことに興味をもっていただきました。

ロールモデルなどとの対話を通じ、働く姿をイメージできた



- 女性技術者から質疑応答のコーナーを設けたところ、女子学生から好意的なご意見をいただくことができました。
- 「アットホームな雰囲気がよく、実際に社員の働き方や質問ができ、自分の進路を考える上で参考にさせていただける、大変貴重な経験となりました。」

理系に進んだその後の姿をイメージできた



- 「理系に進もうと思っていますが、それがどのような職業につながるのか想像できなかったので、知ることができて良かったです。」

イベントの運営に工夫や配慮があった



- 「講義中に参加者へ問いかける場面が多く設けられていたため、飽きることなく楽しみながら学ぶことができ、緊張も徐々にほぐれました。」
- 「暑い中、熱中症が心配でしたが、冷たいおしぼりや保冷剤などを用意していただき、快適に見学できました。」

夏のリコチャレ2026　アンケート結果　～実施団体としての振り返り～

企業

いただいたアンケートの内容を抜粋・一部改変して掲載しています。



イベントを実施するうえでのコアとなる考え方に関すること

- 「理系・文系にとらわれず、自分の好きなことや興味のあることを大切にしてください」というイベントのメッセージが参加者の心に強く残ったと感じており、理工系分野への関心向上と将来の選択肢の拡大につながる有意義な機会となりました。
- 保護者の皆様にも、大学や企業の関係者と直接対話いただく機会を設けることで、理工系分野への理解を深めていただき、「理工系は男性のもの」という固定的なイメージの払拭につながるように工夫しました。



イベント実施上の工夫点に関すること

- スタッフ側は親しみやすいようニックネームの名札を付けました。
- 単なる見学や体験にとどまらず、参加者自身が考え、試行錯誤しながら課題解決に取り組む「探究型学習」の要素を取り入れたプログラム設計を行いました。例えば、模型自動車でのコイル製作体験では、最適な条件を自ら考えながら実験を進める構成とし、技術や科学の面白さを主体的に体感できるよう工夫しました。また、社員との対話時間を多く設け、技術者の仕事や進路選択について具体的にイメージできる機会を提供しました。
- 会社説明や製品説明、工場・試験見学などは学生さんや一般の方にもわかるように資料や話し方を工夫しました。結果、しっかりと興味深く聞いていただけました。
- プログラムとして「光の実験体験」と「理系女性社員との交流」を行いましたが、双方とも高い満足度が寄せられました。本イベントを通じ、光の技術への理解を深めるだけでなく、理工系分野で活躍する女性社員の経験談を通じて、進路や将来のキャリアについて具体的に考えるきっかけとなったことがうかがえます。



周知・集客に関すること

- 参加者のほとんどが、先生からの勧めで参加してくれていたので、学校の先生の協力は不可欠でだと感じました。
- これまでは、広く募集していましたが、情報が届きにくく、参加者が少ないです。今回は、イベント開催場所の近隣にある学校に直接お声がけしました。結果、これまでよりも集まりやすくなりました。
- イベントを開催後、その様子を記事化してHPやSNSで発信し、来年度以降の参加者の参考となるよう工夫しました。

夏のリコチャレ2026　アンケート結果　～実施団体が把握したイベント参加者の声・感想～　大学

「」（カギカッコ）内は、イベント参加者の声

いただいたアンケートの内容を抜粋・一部改変して掲載しています。

理工系の大学での学習等のイメージが掴めた



- 「在校生の皆さんがこの大学に入った経緯や普段行っていることを知ることができ、大学のイメージも少し掴めて、とてもためになりました。自分の想像していたのとは違い、理系でもサークルやバイトと両立できることを知ることができました。」
- 「先輩が中高生時代をどう過ごしていたのか、幼い頃に何に興味があったのか知ることができてよかったです。理学部に興味を持ちました。研究してみたい、という気持ちが強くなりました。」
- 「研究員の方の話を聞ける機会があるのが良いなと思いました!」

イベントの内容が期待を超えておりワクワクした



- 「オンラインで参加の場合、一方的にお話を聞くだけになるのかとって思っていましたが、実際はブレイクアウトルームで少数に分かれて、それぞれ講師の先生から丁寧に教えていただけたのがとても良かったです。実験キットが届き、ワクワクして当日を待ちました。」
- 「元気に生き生きと語る講師や大学生の姿を見て、自分も頑張ろうという意欲をもらいました。」

保護者として参加しての感想



- 「本当に沢山の体験があり、日頃触れられる機会のない機器を体験でき、子どもも大人も心がワクワクしました。素晴らしいイベントでした。」
- 「とても参考になりました。子どもを理系に進学させることに迷いがありましたが、良い選択肢だと感じました。」

夏のリコチャレ2026　アンケート結果 ～実施団体としての振り返り～

大学

いただいたアンケートの内容を抜粋・一部改変して掲載しています。

大学としてリコチャレイベントを実施する意義に関すること



- 活動を通じて実感しているのは、「女子だから理系に向いていない」という明示的な偏見以上に、本人や保護者が理系進路を具体的にイメージできないことが進路選択の制約になっているということです。実際に、女性研究者や技術者、企業で活躍する卒業生との対話を経験した参加者からは、「理系分野の学びが多様な進路につながることを知った」、「将来像を具体的に考えられるようになった」といった声が寄せられています。
- 来場者との会話では、進学系統含め、将来のビジョンが固まりきっていない層も多く、文理選択の前にアプローチする重要性を感じました。

イベント実施の上での工夫点に関すること



- 工夫した点は、将来をデザインしてみるノートを作成するワークショップを取り入れたことです。また、座談会の話題づくりのために質問カードを準備し、和やかな雰囲気をつくるためにお菓子とジュースを準備しました。

地域とのつながりの重要性に関すること



- イベントは今回で10回目を迎え、募集開始から数日で定員に達するようになりました。このことから、活動が地域に浸透し、定着するまでには、継続して実施することも重要であると感じています。今後もできる限りの工夫を重ねるとともに、学校現場の先生方に活動の趣旨を知っていただき、周知にご協力いただける体制が整えば、より多くの子どもや保護者への広報につながると考えます。

夏のリコチャレ2026　アンケート結果　～実施団体が把握したイベント参加者の声・感想～

学術・研究機関、行政機関、その他

「」（カギカッコ）内は、イベント参加者の声

いただいたアンケートの内容を抜粋・一部改変して掲載しています。

理工系の仕事に魅力を感じた



- 「最初は何をするのか分からず、少し不安でしたが、体験してからは楽しく思え、こういう仕事に少し興味が湧きました。このような職業を将来の視野に入れるのもいいのかもしれないと思いました。」
- 「データサイエンティストについてあまり知りませんでしたが、今回の職場体験を通じ、仕事の内容から働いている人の声まで様々な情報が得られ、興味を持つことができて良かったです。」
- 「なかなか聞くことができないお話を聞くことができ、本当に貴重な経験ができました。今後も似たような機会があれば、是非参加したいです。」
- 大学での施設見学やアバター制作の体験を実施したが、児童生徒だけでなく保護者からも「本物を見ることができ感動した」や「最先端技術に触れられ、とても楽しかった」など、新たな発見や驚きの感想が多く、大好評でした。

ロールモデルなどとの対話や職場見学が充実しており、仕事に興味を持った



- 「貴重な体験ができて楽しかったです。研究員や女性社員の皆さんがとても優しく、ためになる話をたくさん聞かせていただきました！来年も行きたいです。」
- 「私はプログラミングやデータ活用などに興味はありませんでしたが、今回は体験で人の様子や仕事の雰囲気を見ることができ、とても楽しそうで興味を持ちました。来て本当によかったなと思いました。」

同じ夢を持つ仲間との出会いがあった



- 「実際に参加してみると、想像を大きく超える学びと発見がありました。このスクールでは同じ分野に興味を持つ仲間が集まっていたため、自分の疑問や興味を抵抗なしに伝えることができました。同じ夢を持つ仲間と、専門的な話をしたり、疑問に思ったことを共有したりする時間はとても楽しく、自分の興味をさらに深めるきっかけになりました。自分の『知りたい』という気持ちを大切に、仲間と率直に意見を交わせる環境だったことが、とても印象に残っています。」

夏のリコチャレ2026　アンケート結果 ～実施団体としての振り返り～

学術・研究機関、行政機関、その他

いただいたアンケートの内容を抜粋・一部改変して掲載しています。



周知・集客に関すること

- 参加者募集の際に、市内の中学生の保護者宛のメールを利用したところ、すぐに定員に達しました。保護者への働きかけは重要な要素だと感じました。

企画の際の留意点に関すること



- 市内事業所のご協力のもと実現可能となった事業だったため、今後も継続して実施していくには、協力企業に対してどのようなメリットを示していけるかが大切だと考えています。
- 今回の講座は、小学生から中学生まで幅広い年齢層を対象としたことから、内容の理解度に差が生じている様子が見受けられました。今後は、対象年齢をもう少し絞るなど、参加者の年齢に応じた内容とすることも検討したいと思います。
- 夏休みの時期には、大学や企業などでもこども向けのイベントが開催されていることから、集客につなげるためには、他の講座との差別化を図ることがポイントだと感じました。









【参考】 夏のリコチャレ2026のスケジュール

（「理工チャレンジ」説明会資料（令和８年２月12日実施）より。内容を一部改変）

【スケジュール（イベント実施までの流れ）】

	参加団体	経団連	内閣府	文部科学省
2月～	イベントの企画 ⇩ イベントの登録（8月末まで受付）	説明会を開催	イベントの受付	
5/18（月）	イベント登録一次締切		※以降、特設ページは、8月末まで週１回更新	
5～6月	集客・広報	広報	一次締切受付分をサイト公開 広報	教育委員会等へ事務連絡 広報
	リコちゃんパネル貸出要請		リコちゃんパネル貸出窓口	
6～9月（7月中旬～8月を主たる期間とする）	イベント実施			

